



北海道医歌人会詠草

五稜郭に遊ぶ

美唄 吉村 誠治

五稜郭に桜のときの過ぎたるも躑躅咲き誇り我を迎へり
シャッターを押してくれし青年「両親を亡くしています」と我に告げ行く
再建の奉行所ゆったり見巡りて幕末維新の空気を感ず
仮装せし榎本武揚と握手せり函館の旅の愉しき記念
晴れ渡る山の容の麗しく駈り丘ニセコ連峰羊蹄の山

ハンノキ

札幌 浜島 泉

ハンノキは詠まることは稀なるもシラカバに似て若葉豊かに
突風に芽吹き始めしシラカバが揺れつつ裸木は動き少なし
藻岩山萌えぎの季節キタコブシ桜の花が彩り添へつ
鉢植えの柑橘五月庭に出すアゲハ蝶の子食み尽くすべし
雪がこひ外す日差しと風の中ツルウメモドキの花殻落とす

棄景

釧路 児玉 昌彦

人々の賑わいありし炭住も過去に沈める夕張の町
ダムに沈む鹿島の村の人氣なき小道横切る一匹の猫
遺棄されて荒れたる家はそのままだに住みにし人の心映すや
夏草の茂る土台と水道の蛇口が示す住居の記憶
一旗を夢みしあとの廢屋は北の大地に吞まれゆくなり

夏

旭川 稻積 文子

言葉なくいたわりかければ言葉なく答え帰りくる年古りて今
暮れなずむ天の橋立を背景に北野屋の若き女将と語らう
九名が六名となりし道医歌人会顔知らぬまま紙面をさびしむ
夏祭り一杯機嫌の若者等揃いの絆纏街を賑わす
洞爺湖上飛び交う花火を目前にしはし忘れる現の世界

報復の悪の連鎖

江別 三宅 浩次

ジェノサイドの被害者であったユダヤ人がジェノサイドに走る何なのだそれは
イスラエル、シリアそれにウクライナなぜか大國の利害が絡む
韓國の歴史が作る怨み節い加減にして頭冷やせよ
人とは愚かなものよ幾千年同じ殺しを繰り返すのだ
殺し合う理屈があるのだそれは正義どちらの側もそれなりの正義

神の手鏡

札幌 古屋 統

サロマ湖は神の手鏡遠山に流るる雲を逆さに映す
サロマ湖に稚魚放つ歌美智子妃を讃うる碑建つ竜宮台は
オホーツクとサロマの幸に恵まれて人豊かなり最涯ての町
駐車場給水施設整いし竜宮台キャンプ場人影を見ず
サロマ湖とオホーツク海に囲まれしキャンプの秘境若者を待つ